

濱口梧陵国際賞授賞式



一般財団法人沿岸技術研究センター
研究主幹 松永 康司

濱口梧陵国際賞は、2015年の国連総会において11月15日が「世界津波の日」に制定されたことを受け、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた方を表彰するため2016年に創設されたものです。

2023年の受賞者への表彰式および講演会は、11月1日(水)海運クラブにおいて開催されました。

授賞式では、堂故国土交通省副大臣から2名1団体の受賞者(磯部雅彦博士(東京大学名誉教授、高知工科大学名誉教授)、Laura S.L. Kong 博士(国際津波情報センター長(アメリカ))、自然災害管理総合研究センター(チリ))に表彰楯が授与されました。

【受賞者の概要】

- 磯部 雅彦博士 東京大学名誉教授／高知工科大学名誉教授
 - ・磯部博士は、沿岸防災に関わる海岸工学の分野において優れた研究成果を多数発表してきた。また、東北地方太平洋沖地震津波による港湾や海岸の被害を教訓とした海岸法改正や「粘り強い構造」の防波堤・防潮堤の導入など、南海トラフ地震等への防災・減災対策等の政策方針決定に大きく貢献した。
- Laura S.L. Kong 博士 国際津波情報センター長(米国)
 - ・ローラ・コング博士は、政府間海洋学委員会(IOC)と米国海洋大気庁(NOAA)により共同運営されている国際津波情報センター(ITIC)のセンター長を2001年より務め、世界各地の津波発生時の警報システムの評価や改善の提言など、地球規模での津波警報・減災システムの構築・展開に多大なる貢献をしてきた。
- 自然災害管理総合研究センター(チリ)
 - ・2010年のチリ国内での津波災害を踏まえ、2012年に自然災害管理総合研究センター(CIGIDEN)が設立され、流体力学をはじめとする広範囲の分野において、国際的にも認められる専門家の養成に貢献した。津波警報システムの開発など、同国内の防災・減災対策の推進に大きな貢献をしてきた。

(※)濱口梧陵氏は、江戸時代末期(1854)の安政南海地震で自らの資産を投げ打ち村人の命を津波から守った人物



磯部雅彦博士



ローラ・コング博士



自然災害管理総合研究センター
シエンフエゴス博士



授賞式

撮影：国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会